

研究所だより 8月号

くろしお

発行:黒潮町教育研究所

幡多郡黒潮町佐賀1092番地1(黒潮町教育委員会内)

TEL 0880-55-3190 Fax 0880-55-3850

Email: kuroshio-l@kochinet.ed.jp

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/kuroshio-l/>

黒潮町教育研究会 第2回学力向上委員会オープン講座

7月22日(金)

佐賀総合センター

筑波大附属小の二瓶弘行先生が講師にお迎えし、授業・講演という形で、じっくり学習することができました。町内外77名の参加でした。ありがとうございました。



アンケートより(一部紹介)

授業

- ・詩の読み取りだけに終わらない、活用につなげる授業のあり方を学ばせてもらいました。
- ・「詩は言葉を並べるだけではない、様々な表現を工夫して作られている」という意味が詳しくわかる授業でした。
- ・佐賀小の子どもたちの力をぐいぐい引き出し、子どもたちの心がどんどんうちとけていきました。反応の声は小さかったですが、よくクラスの中で鍛えられていますね。

講演

- ・手を挙げる集団を作る話が印象的だった。「手を挙げない自分は何だろう」と感じさせること、全員が手を挙げるように1年かけ諦めず指導していくこと、当たり前のように思うが、それができていないことに気づいた。「自分の意見を全体の中で響かせる人ほど伸びていく」そのとおりだと思った。当たり前のことが当たり前でできていないことに気づかせてもらえた時間だった。
- ・国語の授業の楽しさ・大切さを感じることができました。学級作りについても勉強になりました。
- ・国語の指導をするにあたり、何を指導したいのか指導の目的・めあてをしっかりと持つことが大切だとわかりました。
- ・子どもたちに気づかせる仕掛けや引き出しをたくさん持っておられます。学習集団作りのことも絡めてのお話、もっともっと聞きたい思いでした。
- ・大変具体的で実践的な内容で、とてもわかりやすく学ばせていただきました。「詩」を読むという意味が少し理解できた気がします。

- ・視写・暗唱・音読発表の大切なわけを改めて確認できました。「国語で、詩の授業で、表現について教え、学んだことを活かして活用の学習をし、しっかり身につけさせる」ということを意識して授業することが大切だということを学習しました。
- ・二瓶先生の模擬授業を受けながら、子どもの前に立った自分を重ね、何を学びとする授業を構成すべきか、ものすごく勉強になりました。
- ・校内研で参加させていただいたので2学期からの授業が変わるのではないかと期待しています。

その他

- ・オープン講座という形で、研修の機会を広げて下さり、ありがとうございました。



オープン講座にして、たくさんの方に学習していただけたことは、とてもよい取り組みだったと感じています。講座の様子はビデオ録画しています。ご覧になり方は、研究所までご連絡下さい。

来年度、この時期に、再び二瓶先生にお出でいただくことになっています。場所は大方地区で、児童は入野小学校を予定しています。



小学校外国語活動研修(ステージⅡ)

7月25日(月)

高知県教育センター本館

午前中、「学校組織として取り組む外国語活動」と題して、文部科学省初等中等教育局教育課程課国際教育課教科調査官・国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官 直山 木綿子先生の講演でした。講演の後半は、模擬授業形式で、様々な活動を教えていただきました。ただゲームをするのではなく、そのゲームで、どのような力を子どもにつけたいのかが、はっきりと指導者の中になければならないということがわかりました。

午後は、中土佐町教職員によるパネルディスカッション、その後はグループ別演習でした。「外国語活動には無理がある！」というテーマに対して、賛成派と反対派にわかれ、ロールディベートを行いました。物事には、必ず肯定的な面と否定的な面があります。今日のロールディベートで、自分の中の外国語活動に対する二つの面に気づかされました。(研究所HPより)



お知らせ

- ★第2回外国語活動学習会・・・8月23日(火)13:30～ 保健福祉センター 2F 健康研修室です。
(案内済)
- ★第3回学力向上委員会・・・8月26日(金)9:30～ 保健福祉センター 2F 健康研修室です。
(案内済)
- ★第3回社会科副読本編纂委員会・・・9月2日(金)15:45～ 保健福祉センター 2F 大ホール
(後日案内配布)

忙しいですね。
でも、「夏」もぜひ楽しんでね！！
海のくらげより

